

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 法人の介護理念を念頭にサービスの提供を行っている。また事業所理念である「自立支援で笑顔を創る」を策定し、ご利用者の意思を尊重しながら取り組んでいる。さらに、理念の具現化として自己目標を立てて実践し、管理者は定期面談の中で実践の振り返りを行っている。 | 事業所理念を達成するために、4月に振り返りをしながら、新たに自分はどうの行動ができるかを考えて自己目標を立て、利用者の自分らしい生活を支援している。定期面談を通して、理念を共有し合い、意識づけとなり実践に繋げている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 事業所の広報誌「まいらいふ燕便り」を自治会に2か月毎に回覧してもらい、利用者様の暮らしぶりや事業所の取り組みについて地域に知ってもらえるように情報を発信している。今年度は新型コロナが5類対応となり感染状況をみながらボランティアや面会の再開を行っている。 | 利用者の暮らしぶりや事業所の取り組みを地域に知ってもらうために、広報誌の回覧を自治会に依頼中である。また、毎月、5付く日は、地域の方が資材回収に訪問してくれる。今後も地域のボランティアを利用したり日常的な関わりが持てるよう心掛けている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議を通じて事例を挙げ、認知症に対する理解を深めてもらっている。今後は地域活動の情報収集を行い地域の行事への参加を通し交流を深めていきたい。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は2か月に1回開催している。自治会長や老人クラブ会長、地域包括支援センターや市の担当の方などに参加いただき、事業所の活動報告やサービスの提供状況等報告し意見をいただいている。いただいた意見は共有し、サービスの向上に活かしている。 | 運営推進会議には、併設の特別養護老人ホームの施設長も同席し、会議・委員会活動・研修内容と入所状況や事故報告など、丁寧に取り組み状況を報告している。運営推進会議の意見交換から、カラオケセットが準備されるなど、そこでの話し合いは利用者のサービスの向上に結びついている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議の場で市役所の担当者と情報交換を行い、協力関係を築いている。ご利用者様には生活保護を受けている方もいるので、定期的に様子もお伝えし情報共有を行っている。 | 利用者の方のマイナンバーカードの出張申請は市役所担当者から事業所に来所してもらい手続きを行っている。運営推進会議で事業所の実情や利用者の暮らしぶりから具体的なニーズを伝え、連携を築いている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 法人では身体拘束等の適正化のための指針を作成している。3か月に1回、「身体的拘束等適正化委員会」を開催し、日々の振り返り、不適切ケアを行っていないか確認している。また、施設内研修の実施を通し身体拘束をしないケアの知識、認識を高めている。 | 昨年度、施設内研修に関しては、作成した資料を活用し行っていたが参加者が少人数である状況があった。今年度からは、eラーニングを使用した研修により全職員が時間・場所を選択し、期間内に受講できている。受講後は振り返りシートにて認識を深めている。また、3ヶ月毎に開催する委員会では、各ユニットで不適切なケアに繋がらないよう検討している。 | |
| 7 | (5-2) | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 年に2回以上虐待防止に関する研修を実施している。どのようなことが不適切ケアにあたるのか、不適切ケアから高齢者虐待を考え認識を深めている。また、今後は意識継続を図るため虐待防止についての目標の作成を行いたい。 | 全職員は高齢者虐待防止関連法を踏まえた研修を受講し、振り返りシートにて認識を深めている。利用者の大きな声が聞こえた時は、その場面の状況を把握し、利用者へ適切な対応ができるよう配慮している。朝礼で、職員の疲労やストレスなどについて話しやすい雰囲気を大切にしている。 | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度を利用されている方がいらっしやるので施設でも適切に支援できるよう研修会を開催し職員の知識を深めたい。また、管理者は研修を受講済みであるが、職員への伝達講習は未実施なので近日に実施したい。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約の締結、解約の際は不安や疑問点が無いよう相手と確認を行いながらご理解の上捺印をいただいている。また、問い合わせがあればその都度丁寧に説明をし誠実に対応している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご利用者様とコミュニケーションを図り意見や要望を言いやすい関係作りに努めている。ご家族様とは面会や受診の際にご様子をお伝えしているが、全てのご家族様にはご意見や要望を伺う機会が少なく今後はアンケートなどを実施していきたい。 | 利用者の意見や要望は日々の関わりの中で、呟いた言葉を拾ったり、思いを引き出せるよう対応している。家族からの問い合わせには、居室担当者、管理者がいつでも聞いてもらえるような雰囲気になるよう努めている。外部評価の家族アンケートに関しても、即ユニット会議で全職員と共有し、検討し解決するよう質の向上に励んでいる。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 管理者は月1回のユニット会議、年2回の職員面談や日常業務の中で職員からの意見、要望を意識して汲み取っている。それらの意見等は月2回の管理者会議で代表者に報告し、運営に反映されている。 | 全職員へは、業務改善の提案や意見を記入する用紙を提出してもらい、職員面談を行っている。その提案内容によってユニット会議に上げたり、各委員会や担当者へ伝え、職員からの意見が運営に反映されるよう取り組みを進めている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 法人本部職員は定期的に事業所を訪れ、職員と言葉を交わし就業環境の現状把握に努めており、その内容は代表者に伝えている。職員個々の功績等は管理者と代表者が評価し、処遇に反映してモチベーション向上に繋げている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人では資格取得を奨励しており受講費用を全額負担する制度がある。介護福祉士などの資格取得を全面的にサポートしている。また、オンライン研修や内部研修を計画的に行い職員のスキルアップ、モチベーションアップへと繋げている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域の勉強会や研修に参加し交流を図っている。また、地域のケアマネージャーと定期的に情報を交換している。職員にはフロア会議や研修を通し伝達を行い実践に活かしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|-------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居時にご本人やご家族様から不安に思っていることややりたい事等の希望を聞いて介護計画に反映させている。利用開始時には声掛けや関わりを多くとり、安心した信頼関係が築けるよう努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前の見学の時や事前面談から普段のご様子や要望、困りごとなどを確認し施設内で共有している。また、こちらからご家族様に相談したりより良い支援ができるよう努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居の相談を頂いた際には、ご本人の状態やご家族様の相談内容を整理分析し、本当に必要としているサービスか検討して対応している。必要があれば他のサービス利用を勧めるなど柔軟に対応している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 普段から人生の先輩として敬うことを忘れずに接している。また、ご利用者様に作業を手伝っていただいたときには感謝の気持ちをお伝えし、温かみのある関係を築いている。 | | |
| 19 | (7-2) | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご利用者様の日々の暮らしの様子や体調の変化等をご家族にこまめに電話等でお伝えし、情報を共有しながら支援に努めている。また、ご家族が安心できるようにご利用者様の写真を手紙に添えてお知らせしている。 | まいらいふ燕便りや毎月の写真入り近況報告を通して、担当者から利用者の様子が伝えられている。いつでも問い合わせしてほしい旨を伝えながら家族との関係が途切れないうち支援している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|-----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 感染症の状況を見ながら面会を再開している。居室内での面会もできるようになり、ご家族様や馴染みの方々が面会に来られ喜んで頂いている。また馴染の場所は外出レクに取り入れるなど工夫をして支援している。 | 電話のやりとりを仲介したり、耳が遠いのでファックスでやりとりしたり、利用者と馴染みの人との関係継続を支援している。自宅の時に通っていた理美容院が、施設の出張理美容院で昔から知り合いだったという利用者もいる。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士の相性を把握し良好な関係が保てるよう職員がつなぎ役として関わっている。お声掛けをしながら家事などご利用者様同士が協力しあってできるような機会作りに努めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 入居契約が終了してもご利用者様との人間同士の関係まで切れたとは考えず、可能な範囲で相談や情報提供などの支援を継続している。今後も支援を継続し、良い関係性を大切にしていきたい。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入居前にご利用者様とご家族様からどのように暮らしたいかご希望や思いをアセスメントしている。入居後は定期的にあセスメントを行い、ご本人の意向を確認している。また、日々の会話や表情から思いを汲み取れるよう努めている。情報はケース記録やセンター方式で記載して共有し、サービスに反映させている。 | 入居前の面談は、利用者と家族の気持ちに寄り添いながらじっくり話を聞くよう心掛けている。その中で、利用者の思いやこれからの希望など丁寧に聴取している。入居後は、担当職員を中心に日常生活の中で思いや意向の把握に努めている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24 | (9-2) | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前の事前面談で、ご利用者様やご家族様から生活歴や趣味、生活状況等の聞き取りを行い、フェイスシートを作成し職員間で情報共有している。これまで利用されていた事業所からも情報をもらい新しい環境の中、馴染みの生活が継続できるよう職員、家族と協力しながら支援に努めている。 | これまでの暮らしを把握し、定期雑誌を継続購入したり、書道を行事に取り入れたり、職員と一緒に食後の洗い物をするなど、好きな事・できる事を継続している。法人内のケアマネ会議で、入居後の情報フェイスシートを変更し、より利用者の身体状況や生活を把握しやすいシートに工夫している。 | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 普段のご様子や状態、気づきは記録に残し、朝礼や申し送りの際に職員間で共有している。また月に1回のユニット会議で話し合いを行うほか、半年に1回モニタリングを行い、個々の状態や変化やそれに伴う暮らし方の変化を詳細に確認するなどして現状の把握に努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 計画作成担当者と担当職員が中心となり日々の関わりの中で本人の意向や思いを聞き取りご利用者様の力が発揮できるような視点で介護計画を作成している。計画の見直しにはサービス担当者会議を持ちご家族様からも意見や要望を伺い意見を尊重している。 | センター方式を活用しながら、入居者との日々の生活の関わりの中で本人の意向や思いをくみ取りながら、入居後の情報を半年ごとに居室担当者が見直ししている。カンファレンスやスタッフ会議で話し合い、介護計画の見直しにはサービス担当者会議を開き、本人や家族からも要望や意見をもらい介護計画を作成している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 提供したケアの実践やご利用者様の様子から気付いたことを生活記録に記入している。変化等を朝礼や申し送り時に職員間で情報を共有しケアの工夫を行い計画の見直しに繋げている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご利用者様のニーズに対応するため、訪問理美容や訪問歯科などのサービスの利用ができる体制となっている。また、個別の事情から受診の付き添いを行うなどしている。様々なニーズを把握し、介護保険制度の趣旨から逸脱しない範囲で、何ができるのかを職員間で話し合い取り組んでいる。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 新型コロナも落ち着き少しずつではあるが、地域ボランティアの訪問の受け入れができるようになった。また、近所を散歩した際に地域の方と挨拶を交わし、地域の方との関わりが少しでも持てるよう支援をしている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 基本的には本人や家族の希望するかかりつけ医を継続し家族同行の受診となっており、受診の際にはバイタルの状況や食事、水分摂取量、心身の状態を詳細に伝えている。また、必要に応じて訪問看護より医師宛てに情報提供書を作成し適切な医療が受けられるよう支援を行っている。 | 本人や家族の希望する入居前からのかかりつけ医を継続している。家族同行の受診時には、日頃のバイタルや食事・水分摂取量、心身の状態などを家族に伝えている。医師宛てに訪問看護が情報提供書を作成して受診してもらい、受診後の様子や薬の変更内容は連絡ノートに記入し職員間で共有できるように支援している。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週に1回訪問看護師が来訪し、利用者様の健康面や内服状況を確認して頂いている。体調や状態の変化、皮膚状態、服薬の事など多岐にわたり相談し、何かあればご家族様、主治医に情報をお伝えして適切な医療が受けられるよう支援している。また24時間オンコール体制なので随時相談や指示を仰ぐことができる体制になっている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|--------|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ご利用者様が入院した場合は、病院関係者から電話連絡等で情報を共有して回復の状況の把握に努めるとともに、早期退院に向けて協力し合っている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 現在のところ対象の方がおらず終末期の看取り介護は行っていないが、契約時に重度化した場合に当ホームとして対応できる事と出来ない事を了承いただいた上で今後の方針を共有している。また、状態や心情の変化に伴い随時話し合いの場を設けており、訪問看護とも連携し支援をしている。 | 契約時に看取りについて事業所としての取り組みを説明している。利用者の体調の変化に伴い重度化した場合は、その都度、情報を共有して主治医や訪問看護と連携を図り、本人や家族と話し合っている。本人・家族の思いをくみ取りながら、可能な限りできることを支援している。 | |
| 34 | (12-2) | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変時や緊急時に落ち着いて対応ができるようにマニュアルを整備し、定期的に訓練を行っている。また、併設の特養と共有のAEDも設置されており、緊急時には職員が使用できるようになっている。事故対応マニュアルと緊急連絡網、救急隊への引き継ぎ用紙は共にフロア内の目につく場所に置いて、即座に対応できるよう実践に備えている。 | 急変時や事故発生時のマニュアルが整備されており定期的に訓練を行い、今年度は2回実施されている。緊急時に職員が対応できるように各ユニットに一冊ずつ事故対応マニュアル、緊急連絡網、救急隊への引継ぎ用紙などが、フロアの目に留まる場所に置いている。個人の情報は、個人ごとのファイルにあり即座に対応出来るよう分かりやすくしている。併設の特養と共有のAEDを設置しており、まだ実際には使用していないが研修を開催し備えている。 | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 併設特養と合同で災害マニュアルを整備しており、年2回の火災や地震を想定した防災訓練の他、水害を想定した避難訓練を実施している。ライフラインの停止に備えて3日分の食料、カセットコンロ、石油ストーブ2台、自家発電機を準備している。今年度は地域の防災訓練への参加ができず、地域との協力体制が今後の課題となっている。 | 併設特養と合同で災害マニュアルを整備している。年3回の火災や地震を想定した防災訓練や、水害を想定しての併設施設への垂直避難訓練を実施したり、夜間を想定しての避難訓練も実施している。食料品や飲料水などの非常食やカセットコンロ、石油ストーブ、自家発電機なども準備している。訓練には自治会長からも参加してもらっているが、地域の防災訓練には参加できなかったことが今後の課題となっている。 | 地域密着型サービスとして地域との連携は非常に重要であり、災害時には協力体制が必要になってくる。地域の防災訓練に参加することで、顔の見える関係が築けることになると思われる。今後も地域との協力体制を進めていくことが望まれる。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ご利用者様の尊厳を大事にした対応を心がけている。大事なご家族をお預かりしているという責任と職業人としてのプライドを持ち謙虚に接するよう心がけている。また、TPOをわきまえた行動を心掛け、声掛けではきちんと認識できるように目を見て伝えるよう職員同士意識し対応している。 | プライバシー保護に関する研修を行い学びを深めている。一人一人の人格を尊重し、耳が遠い方には、声掛けで認識してもらえるように相手と対面で、穏やかに目を見て伝えるように意識して心掛けている。職員間でも、日々意識し支援に努めている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常生活の中からご利用者様の考えや思いを聞き取ったり、ご自身から意思を表現できるように声掛けや働きかけをしている。一呼吸置いた間を大事にし、ご本人のペースで自己決定が行えるよう働きかけて支援している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 普段のコミュニケーションからさりげなく希望をくみ取り、その人らしい生活を送ることができるよう支援をしている。個々の生活のペースを大事にし、穏やかに過ごして頂けるよう支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 朝の整容や身支度では季節や気温にあった服装を一緒に選ぶなどご利用者様と楽しみながら支援をしている。理容については訪問理容や馴染みの理美容を利用することでおしゃれを支援している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 季節の食材を取り入れて調理したり、行事食に希望のメニューを取り入れるなど、季節感を楽しんでいただけるよう工夫している。また、ご利用者様には食事の準備や簡単なごしらえ、盛り付けなどを一緒に行っていたり、食事を楽しんでもらえるよう支援している。 | メニュー表は入居者の「食べたい物」など、希望する意見を取り入れて、食事係が献立を立て、2日に1回は買い物に行っている。また、季節に合わせた行事食も取り入れ、季節感を感じて楽しんでもらっている。栄養士に相談して便秘を改善するよう取り組んだりもしている。調理レクで楽しみながら一緒に準備して作って食べ、できる方から盛り付けや片付けを一緒に行っている。水分補給の飲み物もボードに8種類書いてあり、自由に選んでもらったり施設玄関近くにある自動販売機から買って来たり楽しんでもらっている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 職員は毎日の食事量、水分量を確認し、水分摂取の大切さをご利用者様にお伝えしながら水分量が不足しないよう努めている。また、毎月体重測定を行い栄養状態を把握している。併設特養の管理栄養士より旬な食材の献立を教えてもらったり献立の見直しをしてもらってバランスの取れた食事の提供を行っている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、お声掛けをし口腔ケアを行っている。ご自分の居室洗面台でケアされる方や、フロア洗面台でケアされる方がおり、個々の状態に合わせた口腔ケアを行っている。 | | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個々の生活リズムを把握し、さりげない声掛けやその方のタイミングでの声掛けを行っている。夜間はポータブルトイレを使用している方もいるが、日中はトイレでの排泄を促し自立支援を行っている。 | 一人一人の生活排泄リズムを把握し、さりげない声掛けでタイミングを図り排泄支援を行っている。トイレ内は広く、手すりや身体を支えるバーが設置され使いやすくなっている。出入扉にはカーテンとの併用により、車イスの方も安心してプライバシーも保護されるように工夫されている。夜間帯には居室内でポータブルトイレを使用する方もいるが、自立に向けた排泄支援に取り組んでいる。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 適度な運動や起床時の水分補給、乳製品の摂取などで便秘を防止する支援を行っている。また排便リズムが整うよう食後のトイレの声掛けをして便秘の予防に努めている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 週2回を基本とする入浴のスケジュールはあるものの、ご本人の希望やその日の体調なども考慮して臨機応変に対応している。また、ユニット毎に檜風呂やチェア浴など浴槽が異なるので、その方の状態に合わせて入浴を行っている。また、好みのシャンプーや石鹸、入浴剤を使用して入浴を楽しめるよう支援している。 | ユニットで「檜風呂」と「チェア浴槽」のタイプの異なる浴槽があり、普段は午前中の入浴を予定しているが、利用者の状態に合わせて、体調や希望を取り入れ、週2回の入浴支援を行っている。一人一人の好みのシャンプーを用意し個別に対応したり、個人ごとの名前をつけたカゴに着替えを準備して入浴を楽しめるように支援している。洗剤・柔軟剤も個人ごとの好みの物を用意している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 居室は全て個室となっており、ご利用者様の生活習慣に合わせていつでも休息をとることができる。職員は温度や照明をご利用者様の好みに応じて調整し、安息できるよう支援している。また、フロアにはソファがありいつでもくつろげるよう整えている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 一人ひとりの薬情報をファイルし職員全員が確認できるようにしている。内服薬に変更が生じた場合は訪問看護に報告し状態変化の観察を行い職員間で情報共有を行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個々の生活歴や好きな事を職員間で共有し、歌を一緒に唄って楽しんで頂いたり、洗濯物を畳むなどして楽しみや張り合いを持って過ごしていただいている。またご利用者様との会話を大事にし、会話の中からヒントを得て支援するよう努めている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 季節の移り変わりを感じられるよう、ドライブレクとして花見や紅葉ドライブを実施している。天気の良い日は施設周辺の散歩など気分転換をできる様支援している。 | 安心して戸外に外出できるように家族の理解、協力を得ながら支援に取り組んでいる。ドライブレクとして季節に合わせ小グループで花見や交通公園にドライブしたり、天気の良い時は事業所周辺を散歩し、気分転換を図っている。家族に協力を依頼し受診外出したり、正月には自宅へ外泊支援したりと、本人・家族の希望に寄り添えるよう取り組んでいる。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご家族様から預かり金を頂き、ご本人様の必要な物や希望の物を購入している。職員との買い物を楽しみにされている方もおり、ご自身のお金をご自身で支払えるよう支援している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族や大切な方への電話や手紙は自由にやり取りができ、希望により支援を行っている。また耳が遠い方でFAXでやり取りしている方もおり、個々に合わせた柔軟な対応を心掛けている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | フロアや通路の壁面には季節感のある飾りや行事の写真を掲示して居心地の良い環境づくりに努めている。また、照明や職員の足音、声の大きさ、物音などにも配慮し、居心地よく過ごしていただけるよう努めている。 | 併設施設と共有の玄関から入り、共有スペースは落ち着いて生活できるよう空気清浄機が設置されるなど、環境整備がなされている。フロアや広い廊下には季節感を感じさせてくれる飾りや行事ごとの笑顔溢れる写真や書初めなど展示されている。折り紙の得意な方の作品等を飾り、気持ちの良い空間作りを心掛けている。非常口等、外の道路が近いのでライトの光を遮るよう工夫したり、音の刺激が少なくなるよう二重窓にするなど居心地の良い空間作りを工夫している。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ご利用者様の性格や人間関係を把握し、職員が声掛けを行ったり間に入るなどして、各自が思い思いに過ごせるように配慮している。また、気の合った方同士おしゃべりをして過ごせるように、ソファやベンチの配置の工夫なども行っている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前の生活に少しでも近づけるように自宅で使い慣れた家具や小物、ご家族の写真等持参し、自分らしい部屋作りをして頂いている。職員は希望に応じて配置換えや装飾などの支援を行っている。 | 居室にはベッド・整理ダンス・洋服ダンスが備え付けられており、自宅からは馴染みの家具や小物・テレビなど持ち込んでもらっている。家族の写真などを飾り、少しでも落ち着いて生活できるよう、ベッドや家具の位置など、使いやすく自分らしい部屋になるように工夫されている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 建物内は手すりを設置し段差もなく安心して生活できるよう配慮されている。また、居室やホームの出入り口は引き戸となっており、自立を妨げず安全に配慮した作りになっている。ほかトイレの場所を分かりやすく認識できるように大きめの標識をして対応している。 | | |